

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 陽だまり		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 16日		～ R8年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R8年 3月 16日		～ R8年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日の利用者人数に対し、職員の人数を十分配置しているの で、きめ細やかで丁寧な支援ができる環境にある	その日の子どもの状態や状況により、別室での1対1の支援 を行っている	職員一人ひとりのスキルアップが図れるよう研修を含め、 チームで協力しながらの支援体制をより強化する
2	同法人で隣接している認定こども園太陽保育園の施設を使用 することができる(園庭、ホール、プールなど)	少しの隙間時間でも気分転換に園庭に出て身体を動かすこと をしている	引き続き、子ども園と連携を取りながら施設を使用し、よ り良い支援に繋げていくと同時に、年齢が上がってきてい るので人数によっては園庭が手狭に感じる時もあり、その 時には2グループに分けたり、近所の公園などへの移動も 考えていく
3	ワンフロアではなく、部屋が1階と2階に分かれている	その日の活動内容や利用者人数により部屋を分けて使用し、落 ち着いて過ごせる環境を確保するようにしている	活動場所の違いによる利用者の子どもの不利益が生まれな いようにしていく必要がある

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員が女性であること	利用者の子どもの年齢が上がってきているので、今後同性介 助の必要性を感じている	男性職員の雇用も視野に入れていく
2	ワンフロアではなく1階と2階に分かれている(バリアフ リー化ではない)	部屋が分かれていることは強みでもあり弱みでもあると 感じている。落ち着いて過ごすために部屋を分けて使用する ということは、職員の人数も必要になってくるため、今後も 現在の職員数を維持していけるかが課題となる	職員の継続的、持続的な雇用のためのよりよい職場環境の 整備
3	サービス提供時間(17:00まで)	6限授業後の利用者の子どもの利用時間が短くなってしまっ た	サービス提供時間の変更も含め、利用者のニーズも聞きな がら考えていく必要がある。また、短い利用時間であって も利用者の子どもの満足感を持てる活動を工夫する必要が ある